



平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社クロス・マーケティンググループ
コード番号 3675 URL <http://www.cm-group.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 五十嵐 幹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 小野塚 浩二

TEL 03-6859-2250

四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 平成30年9月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	8,608	5.7	459	11.6	409	20.3	187	
29年12月期第2四半期	8,141	11.5	411	4.1	340	7.8	184	

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 117百万円 (%) 29年12月期第2四半期 248百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	9.55	9.45
29年12月期第2四半期	9.43	

(注) 平成29年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	9,024	3,669	39.3
29年12月期	9,564	3,598	36.3

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 3,542百万円 29年12月期 3,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		3.25		2.25	5.50
30年12月期		2.50			
30年12月期(予想)				3.00	5.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,614	11.1	1,250	72.1	1,172	95.6	600		30.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	19,561,264 株	29年12月期	19,531,164 株
期末自己株式数	30年12月期2Q	345 株	29年12月期	261 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	19,538,582 株	29年12月期2Q	19,530,953 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。
2. 決算説明会(機関投資家、アナリスト向け)は、平成30年8月20日に開催する予定であります。なお、決算補足説明資料(決算説明会資料)は、説明会終了後に当社ホームページ(<http://www.cm-group.co.jp>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
継続企業の前提に関する重要事象等	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の当第2四半期連結累計期間の業績は、下表のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)	増減額 (増減率)
売上高	8,141	8,608	467 (5.7%)
営業利益	411	459	48 (11.6%)
経常利益	340	409	69 (20.3%)
親会社株主に帰属する四 半期純利益又は親会社株 主に帰属する四半期純損 失(△)	△184	187	371 (-%)

(リサーチ事業)

当第2四半期連結累計期間のリサーチ事業の売上高につきましては、国内・海外の事業会社ともに、新規顧客開拓及び既存顧客の深耕を進め、各種マーケティングリサーチサービスの提供を行いました。国内の事業会社は主力である株式会社クロス・マーケティングを中心にグループ連携による海外調査の対応力強化や新サービスの開発・提供により大型案件の受注が増加いたしました。

海外の事業会社は、前年からKadenceグループにおいて大型案件の受注が継続しており、売上高に寄与いたしました。結果として、リサーチ事業全体の売上高は前年をやや上回る水準で推移いたしました。

セグメント利益(営業利益)につきましては、国内外で受注した大型案件の影響により、売上高は増加したものの外注費が増加したため、前年同期を下回る結果となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,260百万円(前年同四半期比3.2%増)、セグメント利益(営業利益)は1,023百万円(前年同四半期比1.7%減)となりました。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業につきましては、金融業界を中心とした既存顧客との良好な関係が構築できていることにより、継続的に開発案件を受注出来ております。その結果、システムの受託開発を行う主力の株式会社クロス・コミュニケーション及びエンジニア派遣を行う株式会社クロス・ジェイ・テックが牽引しており、売上高が前年同期と比較して増加いたしました。売上高の増加にともない、セグメント利益(営業利益)も増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,321百万円(前年同四半期比30.6%増)、セグメント利益(営業利益)は110百万円(前年同四半期比67.8%増)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、「プロモーション事業」を行っている株式会社ディーアンドエムがプロモーションサービスの販売・提供をしております。

同事業においては、業務提携等の推進によるサービスの裾野の拡大、顧客開拓を推進しております。事業環境の変化による売上構成の変化もあり、前年同期を下回る売上高となりました。セグメント利益(営業利益)については、事業拡大のための人員採用を先行しており、前年を下回る水準となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は284百万円(前年同四半期比12.8%減)、セグメント利益(営業利益)は1百万円(前年同四半期比95.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、資産については、流動資産が6,081百万円(前連結会計年度末比377百万円減)となりました。主な項目としては、現金及び預金2,398百万円、受取手形及び売掛金2,539百万円となっております。固定資産は2,942百万円(前連結会計年度末比163百万円減)となりました。主な項目としては、建物

253百万円、ソフトウェア178百万円、のれん1,370百万円、敷金564百万円となっております。その結果、総資産は9,024百万円(前連結会計年度末比540百万円減)となりました。

負債については、流動負債が3,350百万円(前連結会計年度末比354百万円減)となりました。主な項目としては、買掛金1,169百万円、1年内返済予定の長期借入金535百万円となっております。固定負債は2,004百万円(前連結会計年度末比257百万円減)となりました。主な項目としては、長期借入金1,765百万円、資産除去債務120百万円となっております。その結果、負債は5,354百万円(前連結会計年度末比611百万円減)となりました。

純資産は3,669百万円(前連結会計年度末比71百万円増)となりました。主な項目としては利益剰余金が2,627百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月通期の業績予想につきましては、平成30年2月14日に公表しました連結業績予想から変更はございません。

当社の業績予想は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、季節要因等を反映して作成しております。今後、業績予想に修正が見込まれる場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間において、からだラボラトリー株式会社及び株式会社クロスベンチャーズを新規に設立し、連結子会社としております。

また、当第2四半期連結会計期間において、Kompanion Research Private Limited(インド)及びKadence International Inc. (フィリピン)を新規に設立し、連結子会社としております。

なお、連結子会社である株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメントは、株式会社ユーティルを吸収合併しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,046,760	2,398,226
受取手形及び売掛金	3,229,455	2,538,783
仕掛品	404,486	410,860
繰延税金資産	139,421	147,451
その他	638,823	592,682
貸倒引当金	△397	△6,660
流動資産合計	6,458,547	6,081,342
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	265,809	252,759
工具、器具及び備品(純額)	119,316	127,008
その他(純額)	6,119	7,024
有形固定資産合計	391,244	386,790
無形固定資産		
ソフトウェア	201,560	178,100
のれん	1,515,926	1,370,498
その他	24,557	45,044
無形固定資産合計	1,742,043	1,593,642
投資その他の資産		
投資有価証券	155,568	184,153
関係会社株式	133,708	99,847
敷金	557,515	564,144
繰延税金資産	31,579	26,496
その他	93,463	87,191
投資その他の資産合計	971,832	961,831
固定資産合計	3,105,119	2,942,263
資産合計	9,563,667	9,023,605

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,379,050	1,169,469
短期借入金	266,288	262,770
1年内返済予定の長期借入金	535,200	535,200
未払法人税等	239,934	225,804
賞与引当金	255,641	283,891
その他	1,027,617	872,756
流動負債合計	3,703,730	3,349,890
固定負債		
長期借入金	2,032,400	1,764,800
退職給付に係る負債	43,883	43,883
役員退職慰労引当金	16,439	29,640
繰延税金負債	26,456	24,710
資産除去債務	118,998	119,643
その他	23,619	21,745
固定負債合計	2,261,794	2,004,421
負債合計	5,965,524	5,354,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	562,852	569,896
資本剰余金	566,740	573,783
利益剰余金	2,483,929	2,626,522
自己株式	△117	△166
株主資本合計	3,613,404	3,770,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,919	6,390
為替換算調整勘定	△150,648	△234,502
その他の包括利益累計額合計	△141,730	△228,113
新株予約権	14,369	10,030
非支配株主持分	112,099	117,342
純資産合計	3,598,143	3,669,294
負債純資産合計	9,563,667	9,023,605

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	8,141,309	8,607,810
売上原価	4,747,804	5,429,719
売上総利益	3,393,505	3,178,091
販売費及び一般管理費	2,982,434	2,719,234
営業利益	411,071	458,857
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,077	1,676
補助金収入	8,487	7,761
その他	4,076	2,807
営業外収益合計	15,640	12,244
営業外費用		
支払利息	13,964	16,729
為替差損	27,670	8,316
持分法による投資損失	45,012	33,861
その他	219	3,513
営業外費用合計	86,865	62,418
経常利益	339,846	408,682
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,216
特別利益合計	—	3,216
特別損失		
減損損失	277,642	—
特別損失合計	277,642	—
税金等調整前四半期純利益	62,203	411,898
法人税等	273,825	204,434
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△211,622	207,464
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,357	20,926
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△184,265	186,538

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△211,622	207,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,707	△2,529
為替換算調整勘定	△50,283	△87,996
その他の包括利益合計	△36,576	△90,525
四半期包括利益	△248,197	116,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△236,870	100,155
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,327	16,783

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	62,203	411,898
減価償却費	86,180	85,142
減損損失	277,642	—
のれん償却額	291,739	91,226
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△92	6,263
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,595	28,250
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	13,201
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,084	—
新株予約権戻入益	—	△3,216
受取利息及び受取配当金	△3,077	△1,676
補助金収入	△8,487	△7,761
支払利息	13,964	16,729
為替差損益(△は益)	5,737	6,947
持分法による投資損益(△は益)	45,012	33,861
売上債権の増減額(△は増加)	774,160	533,016
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,052	△15,612
仕入債務の増減額(△は減少)	57,788	△186,636
その他	△156,203	16,232
小計	1,446,026	1,027,865
利息及び配当金の受取額	994	1,751
利息の支払額	△20,534	△16,302
法人税等の支払額	△293,260	△214,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,133,226	798,814
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△48,627	△36,890
投資有価証券の売却による収入	15,743	—
有形固定資産の取得による支出	△18,800	△43,628
無形固定資産の取得による支出	△42,425	△55,660
貸付金の回収による収入	30,000	10,108
敷金の差入による支出	△39,927	△12,677
敷金の回収による収入	1,004	1,903
補助金の受取額	8,487	7,761
その他	△2,590	1,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,136	△127,614

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,137	15,405
長期借入金の返済による支出	△412,600	△267,600
社債の償還による支出	△10,000	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	13,214
配当金の支払額	△58,301	△43,984
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,000
非支配株主への配当金の支払額	—	△13,541
その他	△414	△392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△477,177	△294,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,931	△24,811
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	553,982	351,491
現金及び現金同等物の期首残高	2,159,269	2,045,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,713,252	2,397,121

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

著しい変動がないため、記載しておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リサーチ事業	ITソリューション事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,915,560	928,724	297,026	8,141,309	—	8,141,309
セグメント間の内部売上高又は振替高	117,576	82,439	28,297	228,312	△228,312	—
計	7,033,135	1,011,163	325,323	8,369,621	△228,312	8,141,309
セグメント利益	1,040,630	65,312	32,133	1,138,075	△727,004	411,071

(注) 1 セグメント利益の調整額△727,004千円は、セグメント間取引消去△793千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△726,211千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「リサーチ事業」において、Kadence International Business Research Pte. Ltd. の条件付取得対価の支払が確定したことにより、新たにのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において1,120,000千円であります。

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リサーチ事業」において、当社の連結子会社であるKadence International Limited (HK) において、想定していた収益を見込めなくなったため、当該のれんの帳簿価額全額62,113千円を減損損失として特別損失に計上しております。また、Kadence International, PT (IDN) 他1社において、条件付取得対価の支払が確定したことにより追加的に認識したのれんについて、当第2四半期連結累計期間以前に対応する金額215,529千円を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、減損損失は特別損失のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リサーチ事業	ITソリューション事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,116,059	1,216,401	275,350	8,607,810	—	8,607,810
セグメント間の内部売上高又は振替高	143,457	104,207	8,343	256,007	△256,007	—
計	7,259,516	1,320,608	283,693	8,863,817	△256,007	8,607,810
セグメント利益	1,023,043	109,607	1,370	1,134,019	△675,163	458,857

(注) 1 セグメント利益の調整額△675,163千円は、セグメント間取引消去211千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△675,374千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。